



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

2022～2023 年度 テーマ

プロバスだより

第332号

2023 年 7 月 13 日発行

編集・発行 情報委員会

プロバスライフを元気に楽しむ すこしずつ動きだそう

第 332 回例会

日 時 令和 5 年 6 月 8 日 (木) 12:00～14:00

場 所 八王子エルシィ

出席者 35 名 出席率 74%

(会員総数 51 名、欠席 13 名、休会 4 名)

1. 開 会 野口例会委員長

第 332 回例会を開催します。本日の出席者数は 35 名、出席率は 74% です。

2. 会長挨拶

早いもので今日は 27 期最後の例会です。

今期は全日本プロバス協議会第 10 回総会・東京八王子大会という大きな行事がありました。2

年に涉り準備を重ねてこられた

実行委員会の皆様、総力を挙げて協力してくださった会員の皆様には大変お世話になりました。改めて御礼申し上げます。参加された全国のクラブからもたくさんのお礼状を頂きました。

例会卓話の豊富な話題、時機にかなったテーマの「老年研究会」、お二人の新会員、合併した会員・研修委員会の活躍などがありました。

その一方では時代の流れで生涯学習サロンが中止になり、小中学校音楽祭を立ち上げましたが、止めること、始めること、どちらもご苦勞の多いことです。馬場委員長はじめ地域奉仕委員会のご尽力に心から感謝致します。

再開した宇宙の学校の子供たちの笑顔も印象的でした。また、ご家族の介護で退任を余儀なくされた寺山会員に代わって、河合情報委員長、持田副会長が幹事を兼任してくださいました。これからはこうした助け合いの精神がより求められるでしょう。

池田会長



活動の見直しなど積み残した課題は、28 期の皆様と共に引き続き手がけていきたいと思ひます。

一年間のご協力ありがとうございました。

3. ハッピーコイン披露

持田副会長からハッピーコイン 22 件の披露がありました。(3～4 ページに掲載)

4. パースデーカードの贈呈

6 月生れの会員に池田会員手作りのパースデーカードが贈られた。



写真左から会長、持田会員、一瀬会員、塚本会員

5. 次年度の人事構成・役員分掌

持田副会長より 2023 年度の役員人事の発表がありました。(敬称略)

会 長 持田 律三

副会長 塚本 吉紀

幹 事 齊藤万理子

副幹事 有泉 裕子

例会委員会 委員長 土屋三千代

副委員長 野口 浩平 井上 克

情報委員会 委員長 河合 和郎

副委員長 内山 雅之 丸山 恭

会員・研修委員会 委員長 池田ときえ

副委員長 杉山 友一 根本 照代

泉 道夫

地域奉仕委員会 委員長 馬場 征彦

副委員長 飯田富美子 山口 三郎

宇宙の学校 プロジェクトリーダー 下山 邦夫

サブリーダー 杉田 信夫 塚本 吉紀

交流担当 一瀬 明

会計監査 杉田 信夫 泉 道夫
全日本プロバス協議会 会長 田中 信昭
幹事長 一瀬 明
会計 飯田富美子

6. 幹事報告 持田副会長代行

本日はいよいよ今年度最後の例会となりました。次期に向かつての準備を進めております。

- ・来年度の体制について発表しました。配布資料の通りとなります。よろしくお願い致します。来年度は、兼任される方がさらに多くなります。少人数のクラブとなったためやむをえません。是非支え合いながら進めて行きたいと思えます。
- ・理事会で出た内容ですが、例会の日を効率よく活用するために、今後は例会の前、10:30~12:00を同好会や諸活動の会合に、例会の後14:30~16:00までを委員会活動などの打合せの場を使用することを提案します。是非、親睦友好やクラブの活性のためにご活用下さい。

7. 委員会活動報告

(1) 情報委員会 内山副委員長

お渡ししたプロバスだより第331号は6頁、ホームページへのアクセス件数は355件でした。

(2) 会員・研修委員会 杉山委員長

- ① 本日例会後、会員委員会を開きます。新入会員候補者をお諮りするのをご参集をお願い致します。
- ② 研修委員会につきましては、お陰様で一年間の卓話プログラムも無事終了。「老年研究会」活動報告書については7月総会年次報告書に添えて全会員にお配りする予定です。

(3) 地域奉仕委員会 馬場委員長

- ① 27期関連:「音楽祭」に関し、市長及び教育委員会への「後援名義使用報告書」が纏まった。
- ② 28期関連:第1回理事会において、28期の地域奉仕活動は「八王子市 小・中学校 合唱応援まつり」とすることで承認された。

27期の反省を踏まえ、この「合唱応援まつり」はクラブ全体の地域社会への奉仕活動であり、地域奉仕委員会はその計画と推進を下支えする立場であることを共通認識として再確認したい。今期はこの認識の下で、情報の共有に注力し、全会員のご理解・ご支援を得ることに留意し、例会の報告内容も充実させたい。

「合唱応援まつり」は「宇宙の学校」と同じく市役所との連携が重要であり、6月から教育委員会との連携を始めている。昨年の例では6月中旬に全小・中学校へ募集案内を送付、7月前半には小学校・中学校校長会での趣旨説明をした。

③ 7月末に募集締め切り、今期もこれに準じて活動を開始しました。

6月6日には山口次期副委員長と共に、教育委員会の山崎晃司指導主事を訪問し、28期の大枠協議し合意しました。募集定員未達の場合に私学への拡大も了解されました。次回(6月20日)には募集案内の最終版が出来上がる見込み。

(4) 交流担当 一瀬担当理事

来週15日に徳山プロバスクラブとの交流で、池田会長、全日本プロバス協議会田中会長と訪問する予定にしています。諸活動の情報交換が主目的です。

8. 全日本プロバス協議会 一瀬幹事長

先月にも報告いたしました。来年の五所川原への参加の件、当クラブとしては飯田会員を責任者とし、希望者を募ります。多数の参加お待ちしております。

今月末26日に全日本プロバス協議会の常任理事会を八王子(京王プラザ)で開催予定です。来期の会長クラブの選任及び総会・大会のスケジュール検討などがメインの議題です。

<休憩>

9. 懇談会(各委員会報告)

各委員会の委員が登壇し、1年間の活動実績及び反省点などについて報告がありました。

例会委員会



会員・研修委員会



宇宙の学校



情報委員会



地域奉仕委員会



本部



10. プロバス賛歌

起立、斉唱

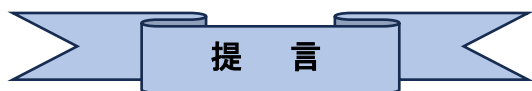
11. 閉会 持田副会長

今日は今年度の最後の例会となりました。久し振

りの円卓の懇親会ができて良かったです。各委員会の全員の声を聞くことができました。時間延長したため、同好会報告をする時間が割愛されてしまいましたが、徐々に同好会活動も再始動されてきております。

時節柄、アルコール無しの懇親会となりましたが、ビンゴゲームで楽しい一年の締め括りができました。

池田会長、一年間大任、大変お疲れさまでした。



<健康フェスタその他のこと> 杉山 友一

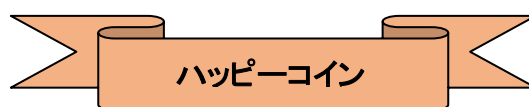
八王子健康づくり推進協議会（八王子市保健所内）が主催する「健康フェスタ・食育フェスタ」が今年も5月に開かれました。この催しにはプロバスクラブも、当年度まで会場の受付業務の手伝いなどで協力参加してきましたが、2023年7月からの新年度は参加辞退を表明しています。このことに一部会員からは、高齢化社会だからこそ、高齢者団体のリーダー格的な活動が注目されるプロバスクラブでありたい。クラブと市民との接触する機会を少なくすることは歴史あるクラブとしては惜しい、との意見表明がありました。そんな経緯をうけての一筆啓上です。

「健康フェスタ」と「いちよう祭り」への協力参加の件は、クラブの理想と現実のギャップから来ていると思います。理想はともかくとして、会員の平均年齢が80歳を超えている中で、現実には、理事会で各委員長に協力割り当てがあり、委員長は何とか委員に協力をお願いして人数合わせをしてきたのが実情かと思えます。それでも人数不足の場合は理事三役で埋め合わせをしてきています。昨今会員の高齢化と会員数の減少は間違いなくクラブの体力を減退させていて、今が本当に一番の踏ん張りどころと感じています。当方もその為の改善に日々奔走している積りです。

私は2000年のロータリー時代から今日まで22年間で37名の新会員を推薦してきていますが、現在のアクティブ会員数は17名です。死亡退会4名、病氣契機退会5名、自己都合退会11名です。自己都合退会の理由の一部に、意に反しての労務過重や動員要

請があります。毎年の執行部のお役目は明確で、会員さんに如何に面白がって参加してもらえるかの知恵比べです。会員増強はそれほど簡単ではありませんから、これからはプロジェクトごとに賛同会員を募り（宇宙の学校のように）、会員の自由度を最大限維持していく必要があるかと思えます。

お話の様子では健康フェスタは今までと様子が変わって取り組みやすくなったようですから、それならば、改めて中身をしっかりPRして、予めお仲間を作っておくという考えは如何でしょうか。「いちよう祭り」への協力参加も立ち位置は全く一緒かと思っています。思いを単に思いに留めないで、解決の糸口に向けてクラブでの議論の高まりに期待したいと思っています。



◆会員・研修委員会活動の中で、老年研究会では認知症の病気と対応を広く学び、教育を語る会では様々な教育の問題を語り合い充実した1年間を過ごすことができました。 根本 照代

◆1年間お世話になりました。副幹事を担当いたしました。 山口 三郎

◆本日は池田会長年度最終例会です。コロナ禍に脅かされながらも、一年間よく頑張りました。今日は、例会委員会の皆さま、万事お世話になります。

杉山 友一

◆池田丸一年の航海を本日無事帰港できたことお祝い申し上げます。 野口 浩平

◆PCのやっと丸テーブルでの会食になり、会員の顔を見ながらの会食、うれしいですね。年度終わりに相応しい例会が開催されてよかったと思います。お疲れさまでした。 飯田富美子

◆今年度の役員の皆様一年間、会の運営にご尽力いただきまして有り難うございました。今年度は色々な行事がありましたが、無事完璧に遂行できましたこと感謝致します。 飯田富美子

◆シニアダンディーズのCDを拝聴しております。力まず自然体で歌われておられるようで一緒にハミングしたい気分になります。益々のご活躍をお祈り申し上げます。 井上 克

◆たまたま本日が誕生日。池田会長から8枚目のバ

ースデーカードをいただくことに。大台目前ですが健康な日々を過ごしたいと思います。 一瀬 明

◆次年度もお元気でプロバスライフを楽しんでくださいますように 池田ときえ

◆この一年間たいへんお世話になりました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。 池田ときえ

◆先だって壱岐に行ってきました。壱岐プロバスクラブの例会にお邪魔したのですが、全日本に関係してなければ行くことない所でしょうが、素晴らしい環境の島で、温かく迎えていただいてハッピーでした。 一瀬 明

◆五所川原、旭川、壱岐に続いて今度は徳山へ行ってきます。お役目とはいえ、全国各地のプロビアンに親しくお会いできるのは嬉しいことです。 田中 信昭

◆27期の「音楽祭」では至らないところが多く、会員諸氏には大変ご迷惑をおかけしました。28期は「合唱応援まつり」といたしたく、皆様のご協力をよろしく願います。 馬場 征彦

◆池田年度最後の例会ですね。お疲れ様でした。 有泉 裕子

◆息子が市議会議員に就任しました。有り難うございます。 鈴木はるみ

◆何かいいことないかな……とっていたら今年より年金が増えていました。ハッピー 杉田 信夫

◆年度のメです。 河西 成幸

◆私の子供が今回の人事で県庁の部長になった。私もそれでお祝いしたい。Happy!! 濱野 幸雄

◆私の孫の子が二人目の子、孫に恵まれました。人が少ないのに大変だが、元気に子育てに頑張っています!! 濱野 幸雄

◆会長さんごくろう様でした。 戸田 弘文

◆久しぶりのラウンドテーブル、顔を見ながら話ができそうです。 橋本 鋼二

◆私は6月3日で78歳になりました。喜寿で祝ってもらっていたと思えばあつと言う間にもう78歳です。走ってきた自分の人生にやり残したことが多く、少し腰を据えて取り組みたいと思うようになりました。やはり年をとったということでしょう?! しばらく、やはり前を向いてHappyを見つけるようにします。よろしく。 持田 律三

俳句同好会便り

私の一句〈六月の句会から〉

河合 和郎

コロナ騒動もようやく下火になり、日常が戻りつつある。俳句同好会も心置きなく遠慮のない作品の鑑賞会が持てるようになってきた。そろそろ吟行会なども楽しみたい。

通学児傘をくるくる梅雨晴れ間 野口 浩平

よく見かける光景。中にはチャンバラなどを始める男の子もいる。我が息子もそうだった。

要不要マスク談義や夏に入る 東山 榮

コロナ禍もようやく収まりつつある。素顔の外出も増えてきた。でもまだ心配という声も多い。

滴りを掌に受け山想ふ 矢島 一雄

「滴り」とは山の崖などから滴り落ちる清冽な点滴のこと。山男はこの甘露で喉を潤す。

淡きより深まりていま濃紫陽花 池田ときえ

紫陽花の色の変化を濃淡で詠み分けてうまくまとめた。真っ白な花もあるが作者は何と詠むか。

噴煙の夏雲となり桜島 田中 信昭

雄大な桜島の一景。噴煙が夏雲のように広がってゆく壮大な景が詠めた。

夏祭り風車の風も売り切れて 下山 邦夫

夏祭りの屋台の風景。おもちゃ屋さんの屋台の風車が全部売れた。「風も売り切れ」の措辞が秀逸。

新茶の香心静かに一服す 飯田富美子

今年初めての新茶を心ゆくまで味わう作者の様子が微笑ましい。新茶の香りが漂ってくる。

鎮守社へ辿る坂道青時雨 馬場 征彦

さり気ない日常の散歩道の光景か。こうした日常の中から、作句を心掛ける精進はさすが。

老々介護夏うぐひすに癒されて 河合 和郎

高齢者社会の到来とともに「老々介護」は日常茶飯事となった。鶯の声に励まされる毎日だ。

編集後記

杉山会員から提言がありました。皆さん方とを考えていきたいと思ひます。

情報 内山

